私たちのスローガン

自他共栄

Mutual Welfare and benefit.　～今しかできない仲間づくり～

飛翔

第32号　平成31年3月31日

編　集　茨城県商工会青年部連合会
発　刊　茨城県商工会連合会
水戸市桜川2-2-35
TEL 029-224-2635
責任者　根本暁生　青年部員数2026人

絆プロジェクト2019

今しかできない仲間づくりがここにありました。

YARETA! H31-2-2 YARERU!

絆プロジェクト実行委員会（冨永寧実行委員長）は、2月2日（土）に東海村にて「絆プロジェクト2019」を開催した。本事業は県青連隔年事業として、県内43青年部より1名ずつ選出された実行委員（広報・交流・研修チーム）により企画・運営されている。

会場の東海文化センターでは模擬店・親子しごと体験・研修会、東海村産業・情報プラザでは交流会が行われた。研修会では、元北海道日本ハムファイターズヘッドコーチの阿井英二郎氏による講演、近年頻発している自然災害への備えについて常総市商工会青年部の相山隆司部長による講演、そして根本県青連会長や青年部員有志によるパネルディスカッションが行われた。交流会には、ご来賓と267人の青年部員が集い、マグロ解体ショーやクイズ大会が行われ、大いに盛り上がりを見せた。

しごと体験
ラベル作り

事業PR
パラグライダーVR

阿井英二郎氏の講演

相山隆司君の講演

実行委員長　冨永　寧君（東海村）

せっかくの同世代の仲間達と繋がりを持たないまま青年部を卒業してしまったらもったいない。今この時だからこそ繋がれる仲間がいる。

実行委員長として、至らない点もあり、皆さんに負担をかけてしまった事もあったと思いますが、実行委員、根本会長を始め、多くの部員、事務局、東海村の関係者の方々など沢山の人の支えのもとで絆プロジェクトを開催する事ができたことを心より感謝いたします。

自信や経験があったわけではありません。ただ一つやりきる覚悟だけを持ちました。少しだけ勇気を出して新たな事に挑戦し、商工会青年部に入って良かったと胸を張って言えるものを手にする事ができました。

この絆プロジェクトは、今後も続いていってほしい。ほんの少し勇気を出して挑戦する部員が出てきてほしいとそう願います。

実行委員長という貴重な経験させていただき成長を実感しています。

皆さま、ありがとうございました。

広報チームリーダー　小寺隆一郎君（那珂市）

昨年5月、第一回全体会議を皮切りに冨永実行委員長を筆頭とする研修・広報・交流会の3チームによる実行委員会が発足し、私自身も広報チームのチームリーダーをさせて頂きました。

広報チームでは月2回の会議を行い「今までに無い絆」をテーマに毎回深夜まで議論を重ねてきました。そして過去3回催されていた物産展を廃止し、新事業の「子供向けしごと体験」「屋外模擬店」を企画しました。当日は予想を上回る大勢の親子連れの参加があり、楽しそうに作業されていました。

そして自分自身、今回のイベントを通して様々な事を学びました。これを今後の青年部活動や仕事に活かして行こうと思います。

交流チームリーダー　高橋正行君（古河市）

「絆プロジェクトは青年部員のための青年部員によるイベントである。」

最初はぎこちなかった部員同士が会議を重ねるごとに絆の深まりが感じられるようになり、実感したことです。

ガッツポーズの実行委員　YARETA!!

マグロ解体ショーで始まった交流会場は、部員の熱気と沢山の笑顔で溢れ、クイズ大会では、異なる単会部員の混成チームながらも連帯感を感じる名場面が見られ、クライマックスの全体写真撮影で実行委員と全ての部員達が一体となりました。

実行委員一人ひとりが自ら行動している姿を見たとき、この交流会が、そして絆プロジェクトが成功したんだと確信し感動に震えました。

絆プロジェクトを通して感じたことは、一人ひとりの個性や持ち味を遺憾なく発揮させることの大切さです。

私は交流会に関わった全てのスタッフに支えられながらリーダーとして走り切ることができました。みなさん、ありがとうございました。

研修チームリーダー　沼里正和君（行方市）

まずもって「絆プロジェクトって何だろう？」から始まった研修チーム。

リーダーとしての舵取りに戸惑いながらも、気がつけば茨城県各地に、1年前には知り合っていなかった、自他ともに認める仲間ができていました。

今回で4回目を迎える大事業。自分達には何ができ、何を伝えられるのかをメンバーと共に考えました。

そして「人と人をつなぐリーダーシップ」のテーマを作り、実行委員一人ひとりの繋がりの中で研修事業を構築していけたことは、自分たちの自信にもなり、講師の方々のリーダーシップを学べた事は今後の青年部活動に活きていくと思います。

今回お世話になった方々に心より感謝を申し上げます。そして、研修チームのメンバーに支えられリーダーを務めさせて頂いた事はとても光栄な事でした。色々と後悔はありますが、これが終わりではなくこの仲間たちとの新たな絆プロジェクトの船出です。

第20回 商工会青年部 全国大会広島大会

全国顕彰の人づくり部門で表彰を受けた田上隆生君と全青連の越智会長

11月21日・22日の2日間にわたり、商工会青年部全国大会（広島大会）が開催され、茨城県から194名が参加した。

オープニングに太鼓本舗かぶら屋による和太鼓演奏と書家の河内裕美氏による書道パフォーマンスが行われた。式典では開催地広島県青連の植田会長、全青連越智会長、中小企業庁長官安藤氏（代読）、広島県湯﨑知事、全国連森会長、広島県連熊高会長から開催を祝うご挨拶があった他、松村参議院議員、渡辺参議院議員からのメッセージが披露された。

大会顕彰では、人づくり部門で鉾田市の田上隆生君が代表として壇上で表彰を受けた他、笠間市の川﨑浩伸君が感謝状表彰で紹介された。茨城県青連としては部員数純増第3位（57名）、新規加入部員数第2位（114名）、女性部員新規加入者数第3位（8名）となった。

主張発表大会では7名（うち関東ブロックは2名）の発表が行われ、最優秀賞には、愛知県みよし商工会青年部の渡邉君、優秀賞に栃木県芳賀町商工会青年部の森君が選ばれた。

商人ネットワークPRでは、つくば市の今村瑠璃さんが参加し、壇上でホームページ制作事業について5分間のPRを行った。

最後に次年度の全国大会開催地である愛知県青連により開催PRが行われた。

終了直前に駆けつけられた全青連顧問 宮本周司氏からの参加者に向けた熱烈なスピーチがあった。

屋外で行われた交流会では、地元マリンバ演奏と、神楽が披露され広島県青年部による多数の地元料理が振る舞われる中、部員・職員の交流が行われた。

2日目は部長会議から始まり、全青連事業についての報告が行われた後、基調講演として「明日から取り入れたい！チームリーダーができる最強の思考改革」（講師：原晋氏・青山学院大学）が行われた。最後に次期全青連会長候補者として奥村直幸君（奈良県）が発表され、挨拶を述べた。閉会セレモニーでは大会旗の引継ぎが行われた後、47都道府県青連会長によるフィナーレ（大団円）が行われ、閉会となった。

47都道府県青連会長による大団円で閉会

商人ネットワークに今村瑠璃さん（つくば市）が参加

関東ブロック 平成30年度 部長会議（栃木）

平成30年2月19日・20日、関東ブロック商工会青年部連絡協議会平成30年度部長会議が、栃木県宇都宮市内のホテルで開催された。参加者約350名の内、本県からは44名が参加した。

今大会は、「各商工会青年部の資質向上には各商工会のトップの資質向上が不可欠」という考えのもと、参加対象者を例年から変更し、各都県青連役員・商工会青年部長（次期青年部長を含む）に絞って行われた。

第1部では、研修会の講師に昨年と同様、㈱ホライズンワークスの林代表取締役をお招きし、「インパルスロード」と題して自己分析・自己研鑽に繋がる「世界観シート」を各々で作成し、参加者と交換する有意義な体験型研修会が行われた。

研修の後半は、11都県青連の会長達が、会場内でそれぞれのブースに分かれて、参加者たちが、自分で話を聞いてみたい会長を選びブースに赴き、20分程度の話を聞くという時間が設けられ、参加者たちは普段なかなか聞く機会のない各都県青連会長の話に興味深く耳を傾けていた。研修会の後には、参議院議員であり全青連顧問でもある宮本周司氏に「地域を元気に！小規模企業の未来を創る‼」をテーマにご講演いただき第1部が閉会した。

第2部では同会場にて交流会が行われた。同じ都県青連の青年部員同士が同一テーブルにならないように席が振り分けられ、テーブル毎での交流が円滑に進むよう、栃木県の青年部員達によって趣向を凝らして企画されたアトラクションやステージ演出が行われた。

翌日20日は、宇都宮歴史探訪として二荒山神社や松が峰教会、宇都宮城址公園を、市内の歴史に精通したガイドによる先導によって巡った。春の到来を期待させる心地よい天候の下、部員達は得がたい多くの学びを得ることが出来た。

参議院議員であり全国商工会青年部連合会顧問でもある宮本周司氏

他の都県青連から集まった青年部員に対して熱心に話す根本会長

こども見守り隊

シンボルマークリニューアル!!
採用デザイン

作成者　鉾田市商工会青年部
渡辺拓哉 君

県青連では、平成30年8月～9月の期間で茨城県内全43単会の皆様に御協力いただき、「こども見守り隊」シンボルマークの新デザイン案を公募させていただきました。

そして、理事会による厳正な審査の結果、渡辺拓哉君（鉾田市商工会青年部）の作品が新デザインとして採用されました。

この「こども見守り隊」活動は、平成17年に登下校中の児童が殺害され、茨城県内で発見されるという痛ましい事件を契機に、当時の商工会青年部の先輩方が全国規模で立ち上げ、平成19年度から継続している事業です。地域に深く根ざし商売をし、子育て世代である商工会青年部だからこそできる事は何かを考え、事業所の営業車両に「こども見守り隊」のステッカーを掲示し走行することで犯罪の抑止力・防犯の強化へ繋げようと展開してきました。

県青連では、今回のシンボルマークのリニューアルをきっかけに、茨城県内43単会の青年部が連携し、地域の子供たちの安全・安心を見守る活動をさらに地域に広げるべく、こども見守り隊のシンボルマークを活用したステッカーやノボリなどのアイテムを作成しており、各単会の皆様にもご活用いただける仕組みを作ってまいります。

事業紹介 ～県内6ブロックの現場から～

県北ブロック

那珂市商工会青年部（小圷進一部長）では、市と連携して2年前より「いい♡なかパーティー」と称し、婚活事業を行っている。将来のパートナー探しの場を提供するだけでなく、参加条件を市に関連付けることで定住促進にもつながるよう努めている。

年に3回実施するということもあり、複数回分のイベント検討会議を同時に進めており、会議に費やす時間も大きい。その中で部員一人一人が屈託のない意見を出し合い活発な議論を重ね開催する内容は、毎回参加者から好評を得ている。

開催日が決まると那珂市商工会のHPにて募集を行います。興味のある方は一度ご覧ください。

いい♡なかパーティ事業風景

中央ブロック

茨城町商工会青年部（圷正美部長）は、茨城町民の日である2月11日に、茨城町総合運動公園内において今年で6回目をむかえる「きらり子どもあんどん2019」を開催した。

町内の小学校の全校児童を対象に、青年部で作成したあんどん用の和紙に、子供たちが将来の夢や希望、町の自慢などを絵や文字で表現。イベントが始まる夕方には、色鮮やかなあんどん（約800基）に灯が入り、幻想的な空間を創り出していた。

当日の朝、雪がちらつく天候ではあったが、各小学校PTAのお力添えもあり、準備から片付けまでスムーズに実施され、青年部・小学校・PTAの方々による地域に根差したイベントとなった。

会場を照らし幻想的な空間を創り出す

鹿行ブロック

地域の誇りである鹿島アントラーズのホームタウン、鹿行地域の未来を支える子どもたちを対象とした「鹿行キッズカップ」が今年も鹿行ブロック商工会青年部連絡協議会（木川宗一会長）主催で行われた。

平成16年から続く本大会も、今回で15回目を数える歴史あるものへと成長した。

その間、子供たちの競技レベルも向上し、大会を通じて地域とサッカーの強い結びつきを感じることができるものとなっている。

地域の宝である子供たちが、将来に渡り活躍できる未来を創ることが、我々青年部の使命である。

優勝チーム（鹿行トレセンA）記念撮影

新筑ブロック

新筑ブロック商工会青年部連絡協議会（石塚正敏会長）では例年、ブロック内青年部員相互の交流を図るとともに、次代を担うリーダーとしての資質向上を図ることを目的に『部員研修会』を開催している。

平成30年度は株式会社瀧田興業の滝田賢治氏を講師に迎え、これまで滝田氏が行ってきた常陸秋そば普及に向けた各種の取組みに関してプロジェクターを用いて説明頂いた後、実際に参加者全員でそば打ちを体験した。

そば打ち体験の様子

県南ブロック

守谷市商工会青年部（飯島崇人部長）では、毎年『守谷灼熱の雪合戦』と題し、真夏に本物の雪を使用したスポーツ雪合戦の大会を開催している。雪は、市内にある世界的製氷企業の協力を仰ぎ、約11トンもの氷を砕いて使用。会場内ではかき氷フェスティバルや子供用のスノーパークを同時開催し、大会参加者以外にも楽しんでいただけるイベントとなっている。次回は9月1日（日）に開催を予定、是非、守谷市まで『涼』を感じにお越しください。

スポーツ雪合戦試合風景

県西ブロック

平成30年11月18日に八千代秋まつりと連携して、八千代町商工会青年部（竹垣学部長）は、八千代町役場庁舎前広場にて商工会青年部員の様々な職業を地元のお子様に職業体験していただくイベントを開催した。また、同時開催イベントとして、白菜キムチ鍋・白菜クリーム鍋の無料提供や筑波学院大学と連携したセグウェイ無料体験も行った。イベント当日は、大勢のお子様が来場、多種多様に用意した職業体験を楽しんでいただいた。

八千代町商工会青年部の皆さん

会長挨拶

茨城県商工会
青年部連合会
会長　根本暁生

「自他共栄～今しかできない仲間づくり～」をスローガンに掲げ、県青連役員、43単会部長はじめ青年部員の多くの皆さんと共に2年の足跡を残させていただきました。

事業活動の中では、部員増強運動を積極的に推進し、増加実績・加入実績・増加比率の3部門で1位を獲得し、一昨年の全国沖縄大会において3冠の栄誉に輝きました。今後、団塊ジュニア世代の卒部による部員数の大幅な減少が予想されるため、引き続き本活動を推進し、青年部の意義を唱え、共感する一人でも多くの仲間を増やし、なお一層前進されることを期待します。

また、昨年には、県青連創立50周年記念式典を挙行することができ、半世紀に及ぶ歴史を辿り重んじ、これまで受け継がれてきた襷を次世代へ繋げることの大切さをあらためて認識しました。

経営革新の面においては、小規模事業者振興基本法が施行され、持続化補助金をはじめとした各種補助金が数多く活用され、「事業改善に繋がった」、「新たなチャレンジとなった」とか、沢山の声が寄せられ、大変嬉しく思います。事業承継問題も深刻化していますが、税制猶予制度や施策を活用し、継続から発展へと導くことが私達青年部世代の任務であると心に強く感じております。共に栄える世の中に出来るよう仲間同士手を取り合って頑張っていきましょう。

かけがえのない仲間たちと共に歩んだ2年間は一生の宝です。

これからも「茨城県商工会青年部ヤレる!!」

有難うございました。

第24代 県青連役員からのMessage

最高のメンバーと過ごせた50年という節目の24代の2年間ありがとうございました。「今しか出来ない仲間づくり」一生の宝物になりました。

副会長（那珂市）
君嶋　祥光

この2年間根本会長と役員の皆さんと共に沢山の経験を共有する事が出来ました！24代での経験は一生の財産であり宝物です。☆YARETA☆

副会長（茨城町）
松野　聖史

茨城県青連役員になり早2年。あっという間に過ぎ24代の役目が終わると思うと寂しい気がします。やレター25代の皆様ヤレる～

副会長（行方市）
木川　宗一

二年間お世話になりました。かけがえのない仲間に感謝致します。

副会長（かすみがうら市）
石塚　正敏

かけがえのない人たちに感謝！かけがえのない地域にも感謝!! 本当にありがとうございました♪

副会長（取手市）
大森　健一

根本会長をはじめ、県青連役員の皆さん2年間大変お世話になりました。これからはそれぞれの地域で茨城県を盛り上げて行きましょう。お疲れさまでした!!

副会長（八千代町）
伊藤　光広

この2年間の経験を無駄にせず今後の人生に生かして行きたい!!感謝!!

理事（常陸大宮市）
王前　昭英

2年間で様々な体験や、学びがあり、素晴らしい仲間と出会えました。ありがとうございました。

理事（東海村）
佐藤　高雅

最年少県青連理事として貴重な経験を沢山させていただきました。そして一生付き合える仲間が沢山出来た最高の2年間でした。ヤレたー！

理事（水戸市常澄）
高橋　雅慶

貴重な経験、沢山の出会いなど充実した2年間でした。有難うございました。

理事（水戸市内原）
久保田　洋平

この2年間の経験を～ALL IN TO POWER～!! ヤレター!!!

理事（鹿嶋市）
小澤　潤

人間力と行動力ある青年部の仲間と出会えた事で、自分の中のリミッターを解除できました！事務局の皆様へ心より感謝です！

理事（鉾田市）
飯島　寿博

「今しか出来ない仲間づくり！」最高の仲間と茨城県の魅力に出会うことの出来た2年間でした。ありがとうございました。

理事（つくば市）
根本　貴寸志

24代県青連理事が出来たことは大変貴重でいい経験になりました。2年間に出来た絆は大きくて大切でそして信頼の出来る仲間が出来た事に感謝しています。

理事（つくばみらい市）
小田島　望

2年間理事として県青連に携わり、最高の仲間に出会えました！この経験を次世代に繋げていきたいです！

理事（龍ケ崎市）
清原　精一

この2年間で素晴らしい仲間に出会えました。ありがとうございました！

理事（守谷市）
飯島　崇人

あっという間の2年間でしたが、様々な経験を積むことができました！この経験を今後の青年部活動に活かしていきたいと思います！

理事（坂東市）
堀　和友

県青連役員の皆様、県内各地の部員の皆様、大変お世話になりました。絆、経験、学び、有意義な2年間でした。感謝そしてありがとう。

理事（常総市）
相山　隆司

2年間、監事として会議から事業に至るまでの皆様の茨城県を思う熱い気持ちに圧倒されっぱなしでした！お疲れ様でした！

監事（潮来市）
森内　嘉伸

根本会長はじめ、役員の皆様に支えられてとても楽しく、貴重な経験をさせて頂いた2年間でした。ありがとうございました！

監事（河内町）
平川　正行

「今しかできない仲間づくり」のスローガンと共に残ったロートルの私を面倒みてくれた根本会長と第24代の仲間達に感謝致します。やれた!!

顧問（美浦村）
栗山　秀樹

今よりも常に一歩先へ進もうとする24代衆の心意気と関東・全国の仲間達の鼓動に痺れた2年間でした。貴重な経験に感謝。

県青連事務局
金子　浩

広報・情報委員会名簿

委員長　飯島　寿博（鉾田市）
副委員長　高橋　雅慶（水戸市常澄）
委員　佐藤　高雅（東海村）
小田島　望（つくばみらい市）
清原　精一（龍ケ崎市）
堀　和友（坂東市）